No. 270

大学別・難関大 ULTIMATE CHEAT SHEET

早稲田大学 文学部 英語攻略チートシート

文化構想と同じ5題構成でも、文学部は熟語で決まる。大問Ⅰの熟語4択、文完成型の内容一致、4〜10語の要約に照準を合わせる。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. 大問Ⅰは難単語より熟語。単語帳より熟語帳が先
2. 内容一致は50問中32問が文完成型。NOT・タイトルは各2問だけ
3. 要約は4〜10語。解答例は8〜10語。書き出しの品詞に従う

◆ 形式マップ(2022〜2026年度)

90分・200点中75点(37.5%)。本文は年2,580〜2,760語、設問・選択肢込みで約3,600語。

大問	形式	設問	中身
Ⅰ	空所補充	1〜14	長文2本(計約525〜600語)。熟語・語法中心の4択
Ⅱ	内容一致	15〜24	長文3本(計約910〜985語)。2問＋3問＋5問
Ⅲ	脱文補充	25〜31	論説1本(約570〜680語)に7か所、8択
Ⅳ	会話文	32〜38	会話(約170〜250語)に7か所、13択
Ⅴ	英文要約	記述1	約280〜325語の英文。書き出しに続けて4〜10語

◆ 文化構想との違いが対策を分ける

大問構成は同じ「双子」。差は中身にある(記事の5年分の集計)。

大問	文学部	文化構想
Ⅰ	熟語・コロケーションが主役	語尾違いの難単語が主役
Ⅱ	文完成型32問／NOT2問／タイトル2問	NOT7問／タイトル5問
Ⅲ	一つの主題を歴史的に追う論説	一つの概念を掘る論説
Ⅳ	定型イディオム・口語表現が中心	社会的な話題を埋め込んだ会話
出典	文芸批評・言語学・脳科学が常連	単行本中心、理系寄りが混ざる年が多い

◆ 大問ごとの攻略法 6

☐ **1 Ⅰ:前置詞が見えたら熟語**

空所の前後2語だけ見る。in its own right、on the assumption that のような熟語は知っていれば一瞬。知らなければ語法と文脈で絞るしかなく時間を食う。機能語型(As is the case with など)は20秒で見切る。

☐ **2 Ⅰ:意味から推すと落ちる**

2026年度1問目は勧める文脈で better を選ぶと外れ、正解は you could do worse than(〜するのも悪くない)。**熟語は推理より知識**。

☐ **3 Ⅱ:文完成型は主語だけ先読み**

設問が「According to the passage, X was」のように途中で切れる。主語(固有名詞・専門語)だけ拾い、本文の該当箇所の周辺を読む。選択肢を設問文につなげて音読し、文として不自然なものから消す。

☐ **4 Ⅲ:時の手がかりを使う**

代名詞・接続副詞・初出の人名に加え、文学部は時系列の論説が多いので年代・世紀・時の副詞句が強力な手がかり。

☐ **5 Ⅳ:イディオムは直前の語で即決**

wrap my ( ) around なら head。13択を熟語の一部と単独の単語に分け、熟語箱は形で決める。ダミーも次の年の正解候補。

☐ **6 Ⅴ:要素をそろえる**

指定は4〜10語。解答例は5年とも8〜10語(別解の6語を除く)。短すぎたら主張の要素の抜けを疑う。語数合わせで本文にない情報は足さない。

◆ 要約:書き出しで続きの形が決まる

記事が示した書き出しの切れ方と、解答例の形。

書き出しの切れ方	続け方	例の年度
主語だけで切れる	動詞から(助動詞＋動詞)	2026
is not a defect(否定)で切れる	but＋名詞句・名詞節	2025
in reality などの副詞句の後	主語＋動詞の節	2024
seems to be で切れる	補語(形容詞句・分詞句)	2023
such that で切れる	主語＋動詞の節	2022

◆ 記事が予想する「まだ出ていない熟語」 7

大問Ⅰで狙われそうな候補として記事が挙げたもの。例文はオリジナル。

☐ **by no means** ★★★ … 決して〜ない
not at all の硬い形。by all means(ぜひどうぞ)と逆
The task is by no means easy.
その仕事は決して簡単ではない。

☐ **for all 〜** ★★★ … 〜にもかかわらず
＝despite。for all I know(よく知らないが〜かも)と区別
For all his fame, he lives a quiet life.
有名なのに、彼は静かに暮らしている。

☐ **in its own way** ★★☆ … それなりに
in its own right(それ自体で)と1語違い
Each season is beautiful in its own way.
どの季節もそれなりに美しい。

☐ **at the expense of 〜** ★★★ … 〜を犠牲にして
費用だけでなく比喩にも使う
He finished early at the expense of quality.
彼は質を犠牲にして早く終えた。

☐ **on the grounds that 〜** ★★☆ … 〜という理由で
やや硬い理由づけ。後ろは that 節
The plan was rejected on the grounds that it cost too much.
費用がかかりすぎるという理由で計画は却下された。

☐ **to the extent that ～** ★★☆ … ～という程度まで・～する限りでは
程度と範囲の両方の意味がある
His health declined to the extent that he had to quit his job.
彼の健康は仕事を辞めなければならないほど悪化した。

☐ **no less than ～** ★★☆ … ～も(多さを強調)
no more than(～しか)と逆。数の前で
No less than 500 people came to the talk.
講演には500人もの人が来た。

◆ 要約に使える「足し算パーツ」と述語 8

要約の述語・部品。本文と被りにくい語を選ぶ(語数合わせだけで足さない)。

部品	意味	使い方
☐ **be rooted in ～**	～に根ざしている	原因・起源をまとめる
☐ **give way to ～**	～に取って代わられる	変化をまとめる
☐ **bring about ～**	～をもたらす	結果をまとめる
☐ **underestimate**	過小評価する	批判の結論に
☐ **complex / harmful**	複雑な／有害な	評価を形容詞1語で
☐ **over time**	時がたつにつれ	変化の流れを示す
☐ **in everyday life**	日常生活で	抽象論を着地させる
☐ **which / that …**	関係詞節	名詞に説明を足す

◆ ここで落とす！ひっかけ 4

☐ ✕ ~~you could do worse than＝もっと悪くできる~~
○ ～するのも悪くない(おすすめ)
控えめな推薦。2026年度の正解

☐ ✕ ~~文化構想と同じくNOT・タイトルの練習中心~~
○ 文完成型の処理を中心に
文学部のNOT・タイトルは5年で各2問

☐ ✕ ~~主張の要素を落として4～5語で切る~~
○ 要素をそろえて書く
解答例は5年とも8～10語

☐ ✕ ~~Given＝与えられた~~
○ Given ～＝～を考えると
分詞が前置詞化した形。2024年度の正解

◆ 90分の時間配分

文化構想と同じ順番。文学部は大問Ⅰの見切りを早く。

時間	大問	ポイント
0～7分	Ⅳ 会話文	イディオムを知っていれば最速
7～25分	Ⅰ 空所補充	知識問題。悩んでも降ってこない
25～40分	Ⅴ 要約	先に記述を確保
40～70分	Ⅱ 内容一致	文完成型は選択肢が長い。1本10分
70～85分	Ⅲ 脱文補充	選択式なので最後でよい
85～90分	見直し	マークずれと要約の語数

◆ 2027年度に向けての注意(記事の予想) 5

☐ **1 予想:形式は不変**
Ⅰ14・Ⅱ10(2+3+5)・Ⅲ7・Ⅳ7・Ⅴ記述の並びが続くと記事は予想(確度:極めて高い)。

☐ **2 予想:テーマは3点セット**
文学・批評／言語学／脳・認知科学が軸で、歴史叙述か日本文化が1本混ざる年がある。

☐ **3 予想:Ⅲは通史型の論説**
候補として翻訳の歴史・辞書の歴史・公教育の成立・女性作家の受容などを記事は挙げる。

☐ **4 予想:Vの内容**
「テクノロジーが人間に何をしたか」型と「Aは欠陥ではなくBだ」型が有力。

☐ **5 要確認・関連シート**
最新の過去問と入試要項で形式を確認。大問Ⅰの熟語は『文学部の過去問に出た単語・熟語BEST100』、大問Ⅳは『文学部・文化構想に出た熟語・慣用表現65』で。

◆ 確認テスト

1 His argument is ＿＿ no means convincing.
a at b for c in d by

2 ＿＿ all its flaws, the film was a big hit.
a In b On c For d By

3 Jazz is an art form in its own ＿＿ .
a sight b might c right d light

4 ＿＿ is generally the case with young writers, her first book was short.
a What b As c That d It

5 Can you help me wrap my ＿＿ around this theory?
a nose b hand c head d neck

6 要約の解答例の語数は5年とも ＿＿ 語だった(別解を除く)。
a 4～5 b 8～10 c 11～15 d 2～3

◆ 解答

1 by by no means＝決して～ない
2 For for all ～＝～にもかかわらず
3 right in its own right＝それ自体で、独立して
4 As 擬似関係詞 as。前後の内容を受ける
5 head wrap one's head around＝理解する
6 8～10 指示は4～10語。要素をそろえると8～10語に

参考資料 原田英語｜早稲田大学文学部英語徹底研究！過去5年分析＆2027年度 超絶入試予想(最頻出熟語・語彙280・慣用表現65・要約の書き方)／原田英語｜早稲田大学文化構想英語徹底攻略／原田英語｜早稲田大学学部別英語入試難易度・形式マップ